

## 令和5年台東区観光統計・マーケティング分析結果について

### 1 分析の概要と調査データ

#### (1) 概要

コロナ禍以降の区内観光の回復状況など、現状を把握し、今後の観光施策に活かしていくために、令和5年の本区における観光統計の推計・算出、及び、観光客のマーケティング分析を実施した。

#### (2) 調査対象期間

令和5年1月から12月まで

#### (3) 調査データ

ア. 来訪者パラメータ調査（区実施）

イ. モバイルデータ（ドコモ・モバイル空間統計）

ウ. 旅行・観光消費動向調査／訪日外国人消費動向調査／宿泊旅行統計調査（観光庁実施）

エ. 観光地点等入込客数調査（東京都実施）

### 2 結果概要

#### (1) 観光客数の推計

	令和5年	前年比	令和4年
年間観光客数	3,862万人	132.6%	2,912万人
年間外国人観光客数 (内数)	442万人	940.8%	47万人

#### (2) 観光消費額の推計

	令和5年	前年比	令和4年
年間観光消費額	3,412億円	164.1%	2,079億円
1人当たりの消費額	8,836円	123.8%	7,140円

#### (3) 滞在時間（日帰り客）

	令和5年	令和4年
平均滞在時間	4.39時間	4.42時間

#### (4) 宿泊日数

区分	都内在住者	都外在住者	海外在住者
1・2泊	99.0% (0.3%)	96.0% (0.1%)	50.6% (-1.3%)
3・4泊	0.9% (-0.2%)	3.7% (-0.1%)	32.8% (1.3%)
5泊以上	0.1% (-0.1%)	0.3% (—)	16.6% (—)

( )内は前年からの増減

### 3 今後の対応

本分析結果は、区内の観光団体をはじめ産業団体、宿泊施設等へ広く情報を提供していく。また、コロナ禍からの回復しつつある本区の観光動向における効果的な観光施策実施に向けて活用する。

# 令和5年 台東区観光統計・マーケティング分析 報告書－概要版－

## 1 分析の概要と方法

### (1) 概要

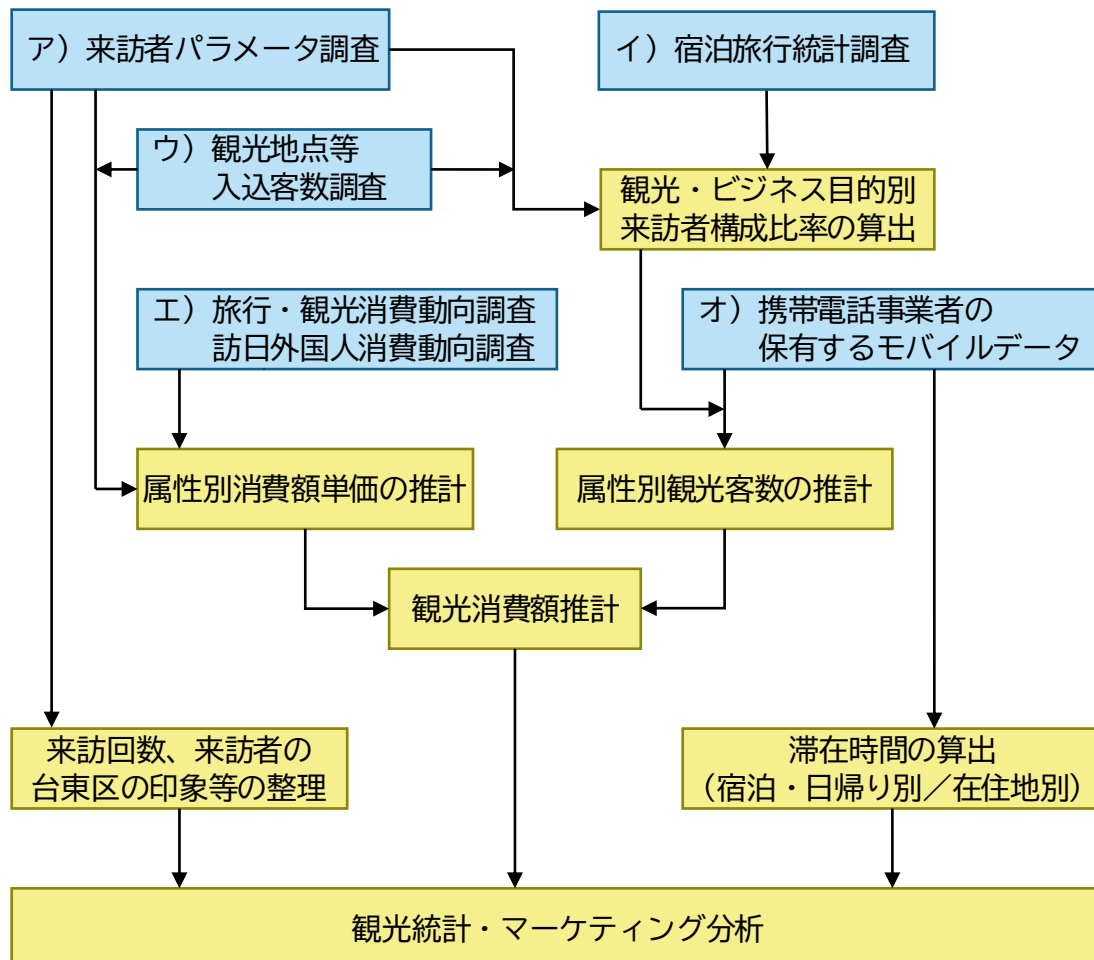
本調査は、令和5年1月～12月における本区の年間観光客数、観光消費額等の推計及び台東区への来訪者のマーケティング分析を行い、観光プロモーション方針を立案する基礎資料とするものです。

### (2) 方法

観光客数、観光消費額の推計においては、観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」を基本に、来訪者パラメータ調査（台東区来訪者へのアンケート調査）及び各種統計データにより推計を行いました。

また、台東区来訪者へのアンケート調査結果をもとに、マーケティング分析を行いました。

### ① 調査フロー



■ 調査・データ部分      ■ 推計・分析部分

## ② 調査内容

### ア) 来訪者パラメータ調査

観光客数及び観光消費額を推計するためのパラメータの算出およびマーケティング分析のため、区内来訪者に対しアンケートを実施しました。

#### 【調査項目】

来訪者属性（居住地、性別、年齢）、来訪目的、同行者、来訪回数、利用交通機関、観光消費額、満足度、印象、再来訪意向等

#### 【調査実施時期・回数】

令和5年第1四半期～第4四半期、計4回実施

#### 【調査地点】

上野地区（上野公園案内所付近、アメ横（上野側））

浅草地区（浅草寺宝蔵門前）

谷中地区（谷中銀座付近）

浅草橋地区（JR浅草橋駅東口付近）

#### 【サンプル回収数】

総数 4,092（国内在住者 2,344 海外在住者 1,748）

### イ) 宿泊旅行統計調査

観光庁が実施した宿泊旅行統計調査の内、台東区内における結果の提供を受け、宿泊客における居住地別の観光目的とビジネス目的の構成比を算出した。

### ウ) 観光地点等入込客数調査

東京都が実施した観光地点等入込客数調査の内、台東区内における結果の提供を受け、属性（宿泊・日帰り、居住地、観光目的・ビジネス目的）の構成比及び属性別の消費額単価を求める際に、ア) 調査の地点別サンプル数とウ) 調査の入込客数の整合を図るための拡大係数を算出するために使用した。

### エ) 旅行・観光消費動向調査及び訪日外国人消費動向調査

観光庁が実施した旅行・観光消費動向調査及び訪日外国人消費動向調査における消費額単価について、前回調査時（令和4年）からの比率を算出し、台東区内における属性別観光消費額単価を推計した（一部属性において使用）。

### オ) 携帯事業者の保有するモバイルデータ

携帯電話事業者の保有する人流データを取得し、台東区への移動人口、滞在人口を把握することにより、居住地（都内・都外・海外）別、宿泊・日帰り別の観光客数を推計した。また、同データより、観光客の台東区内での滞在時間を算出した。

※ ア) 令和2年から4年については観光庁及び東京都の調査データにより推計を実施

オ) 令和3年よりモバイルデータを活用し観光客数の推計を実施

## 2 台東区の観光客数

令和5年の台東区の観光客数は3,862万人（内、外国人観光客数は442万人）と推計された。前回調査（令和4年）と比べると949万人の増加、外国人観光客数は395万人の増加となった。

令和4年10月の入国制限の解除、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による旅行機運の高まりなどから、年間観光客数、外国人観光客数ともに順調に回復している。コロナ禍前の平成30年に対し、年間観光客数で69.2%、年間外国人観光客数で46.4%まで回復する結果となった。

表1 年間観光客数の推計

	令和5年	令和4年比	令和4年
	年間観光客数（実人数）	3,862万人	132.6%
内、年間外国人観光客数	442万人	940.8%	47万人
内、年間宿泊者数	487万人	151.8%	321万人
内、年間外国人宿泊者数	159万人	1011.1%	16万人

※数字の単位未満は端数処理をしているため、表中の数字と比率が一致しない場合がある。（以下同様）

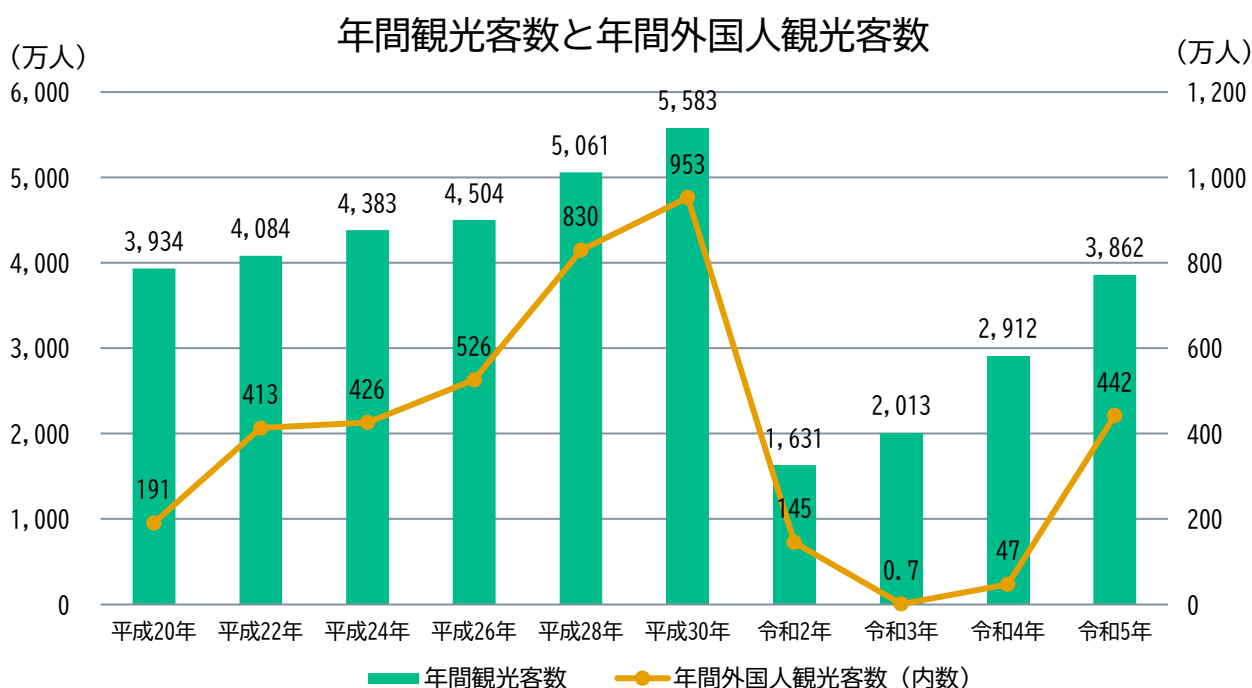


図1 年間観光客数の推移

### 3 観光消費額

令和5年の観光消費額は3,412億円、1人当たりの観光消費額は8,836円と推計された。前回調査（令和4年）と比べると、年間観光消費額は1,333億円の増、1人当たりの観光消費額は1,696円の増となった。

観光消費額単価は、属性別では減少した属性がある一方で、全体では増加しており平成30年と同額程度まで回復している。その要因としては、訪日外国人の円安による購買意欲の向上、日本国内の物価高が考えられる。

表2 年間観光消費額

	令和5年		令和4年
		令和4年比	
観光消費額	3,412 億円	164.1%	2,079 億円
1人当たりの消費額	8,836 円	123.8%	7,140 円

表3 属性別の観光消費額単価

区分	日帰り客		宿泊客	
	観光目的	ビジネス目的	観光目的	ビジネス目的
都内在住者	3,865 円	1,442 円	13,860 円	23,581 円
都外在住者	7,919 円	6,597 円	14,443 円	23,817 円
海外在住者	8,453 円	10,922 円	53,428 円	34,508 円

表4 属性別の観光消費額

単位：百万円

区分	日帰り客		宿泊客		合計
	観光目的	ビジネス目的	観光目的	ビジネス目的	
都内在住者	44,092	2,835	5,579	9,340	61,847
都外在住者	119,813	15,963	18,889	27,850	182,516
海外在住者	22,998	1,111	50,204	22,555	96,868
合計	186,904	19,910	74,672	59,745	341,231
	206,814		134,417		

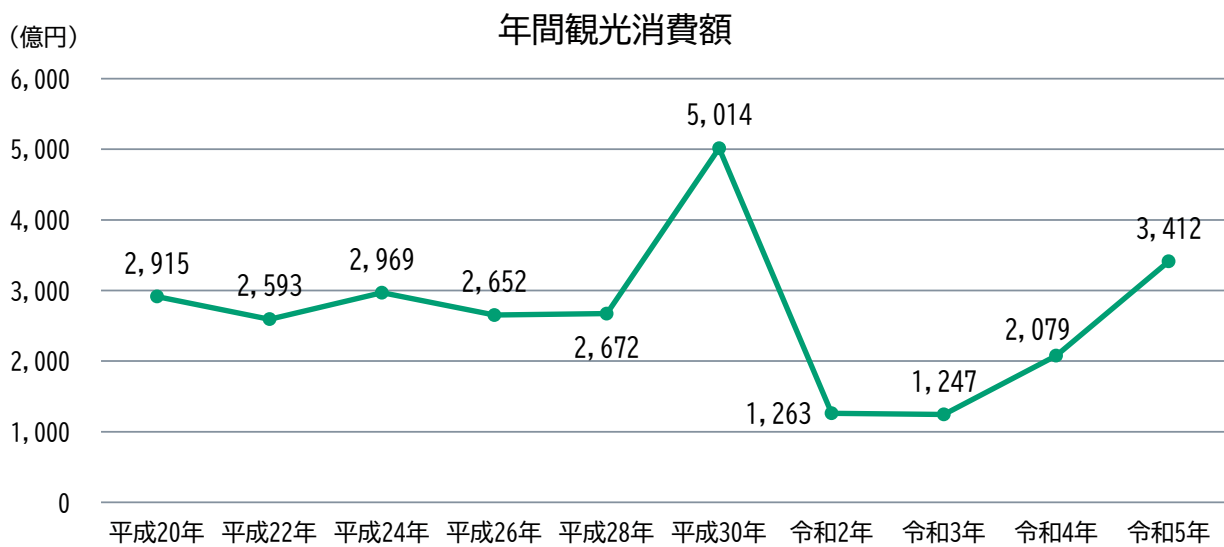


図2 観光消費額の推移 (台東区全体)

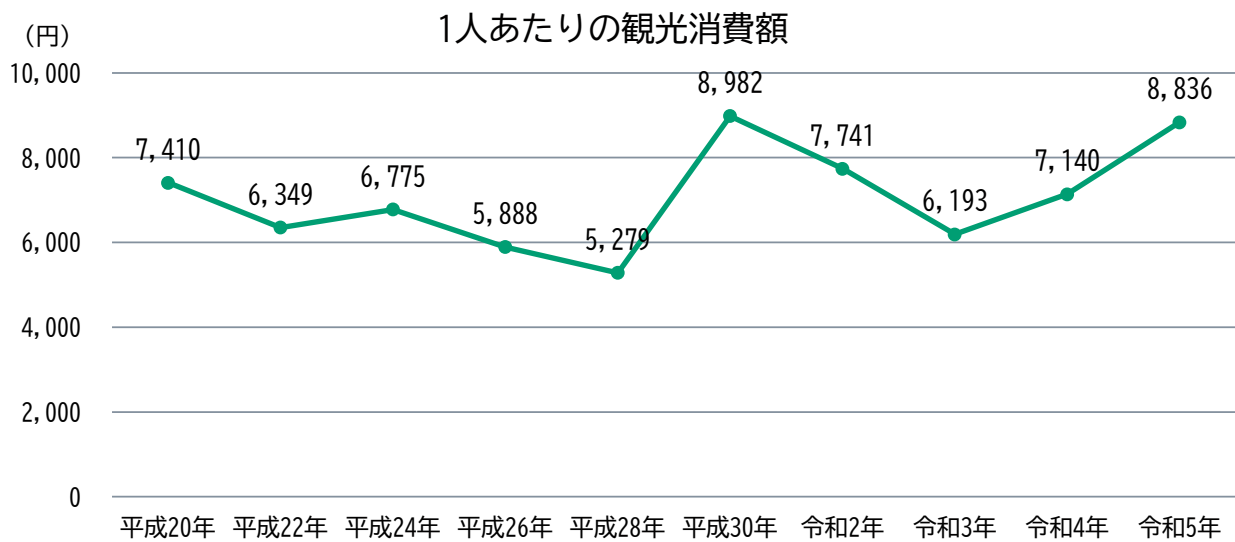


図3 観光消費額の推移 (1人当たりの単価)

## 4 滞在時間・宿泊日数

日帰り客の台東区内の平均滞在時間は多い順に都内在住者、都外在住者、海外在住者となっている。いずれの在住者においても、2～4時間の滞在が最も多いものの、海外在住者においては、4時間以上の滞在割合が微増している。

宿泊日数については、都内及び都外在住者は1泊及び2泊の宿泊者の割合が95%を超えるが、海外在住者は約半数が3泊以上の宿泊となっている。

表5 平均滞在時間・宿泊日数

※()内は令和4年の値

区分	全体	都内在住者	都外在住者	海外在住者
日帰り客	4.39時間 (4.42時間)	4.50時間 (4.47時間)	4.39時間 (4.39時間)	3.91時間 (3.75時間)
宿泊客		1.06泊 (1.08泊)	1.23泊 (1.23泊)	2.93泊 (2.94泊)

表6 日帰り客の滞在時間別割合

※()内は令和4年の値

区分	都内在住者	都外在住者	海外在住者
2～4時間	53.1% (54.0%)	55.2% (55.5%)	63.4% (67.5%)
4～6時間	27.8% (27.1%)	26.6% (26.0%)	23.6% (21.8%)
6～8時間	10.7% (10.7%)	10.7% (10.7%)	10.3% (8.5%)
8時間以上	8.3% (8.3%)	7.5% (7.8%)	2.8% (2.2%)

表7 宿泊客の宿泊日数別割合

※()内は令和4年の値

区分	都内在住者	都外在住者	海外在住者
1泊	95.4% (94.3%)	82.4% (82.7%)	26.6% (28.7%)
2泊	3.6% (4.4%)	13.6% (13.2%)	24.0% (23.2%)
3泊	0.7% (0.8%)	3.0% (3.0%)	19.0% (18.9%)
4泊	0.2% (0.3%)	0.8% (0.9%)	13.8% (12.6%)
5～7泊	0.1% (0.2%)	0.3% (0.3%)	13.9% (12.9%)
8泊以上	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	2.7% (3.7%)



## 5 来訪回数

台東区への来訪について「初めて」と答えた人は、海外在住者で62.7%、都外在住者で16.2%であった。4回目以上の来訪は、都内在住者で6割、都外在住者で5割、海外在住者でも1割となっている。

調査地区への来訪回数では、谷中地区において、「初めて」の割合が高く、海外在住者では、75%（4人に3人）を超え、都外在住者でも半数近くが初めての来訪となっている。また、浅草地区における海外在住者の「初めて」の割合も7割と高くなっている。一方、4回目以上の来訪は、上野地区、浅草橋地区においては再来訪率が他地域と比べて高く、海外在住者も約1割の人が4回以上訪れている。

表8 台東区への来訪回数

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	4.7%	17.0%	67.9%
2回目	4.4%	13.1%	15.9%
3回目	12.7%	17.5%	6.3%
4回目以上	78.2%	52.4%	9.9%

※数字の単位未満は端数処理をしているため、合計の数値と内訳が一致しない場合がある。  
(以下同様)

表9 上野地区への来訪回数

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	3.8%	16.0%	65.0%
2回目	2.6%	11.7%	17.4%
3回目	5.8%	11.4%	8.0%
4回目以上	87.8%	60.9%	9.6%

表10 浅草地区への来訪回数

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	19.1%	29.6%	73.3%
2回目	16.5%	22.9%	16.5%
3回目	17.0%	21.3%	4.8%
4回目以上	47.3%	26.2%	5.4%

表 11 谷中地区への来訪回数

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	27.8%	47.2%	78.1%
2回目	8.6%	19.4%	13.1%
3回目	14.1%	9.7%	5.1%
4回目以上	49.4%	23.6%	3.8%

表 12 浅草橋地区への来訪回数

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	11.4%	39.5%	64.7%
2回目	13.4%	19.5%	17.1%
3回目	17.3%	8.5%	6.2%
4回目以上	57.9%	32.5%	12.0%

## 6 来訪者の台東区の印象

来訪者の台東区の印象として、良かったことについては、「名所・旧跡、博物館・美術館」が最も多く、続いて「食事・買い物」、「にぎわい（活気）」が続いている。この上位3位は平成30年調査と同じ結果となっており、国内在住者では「食事・買い物」が増加している。海外在住者では「にぎわい（活気）」が若干増加する一方で、「おもてなし（接客・道案内など）」、「公共交通機関を利用した区内移動の利便性」が大きく減少している。

残念だったこととしては、国内在住者・海外在住者ともに「人の多さ（混雑）」が一番多い結果となった。平成30年調査と比較すると、海外在住者の「Wi-Fi 環境」への回答は増加しているが、全体的に残念だったことの回答率は減少している。

○良かったこと（国内在住者・海外在住者） ※複数回答可

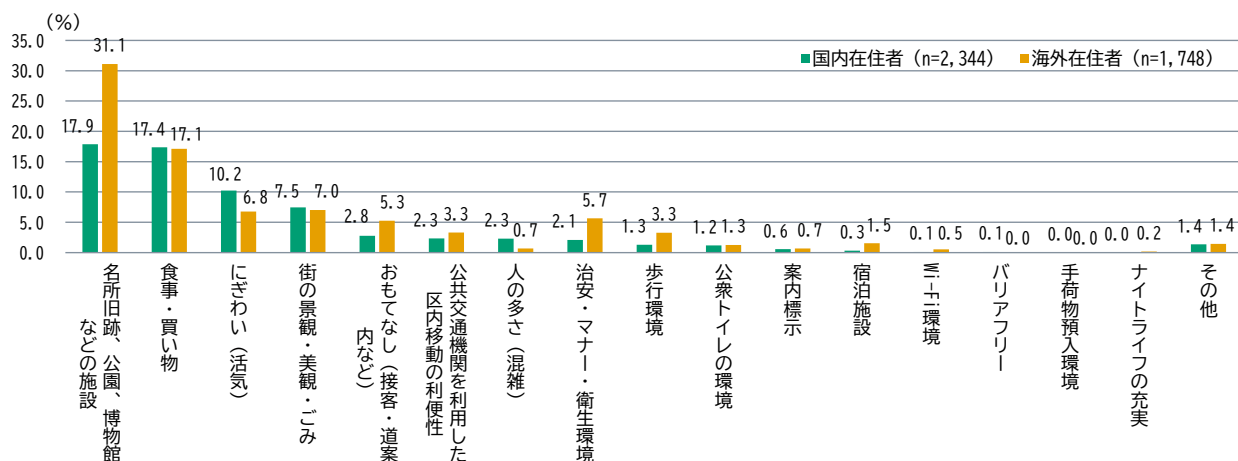


図4 良かったこと

○残念だったこと（国内在住者・海外在住者） ※複数回答可

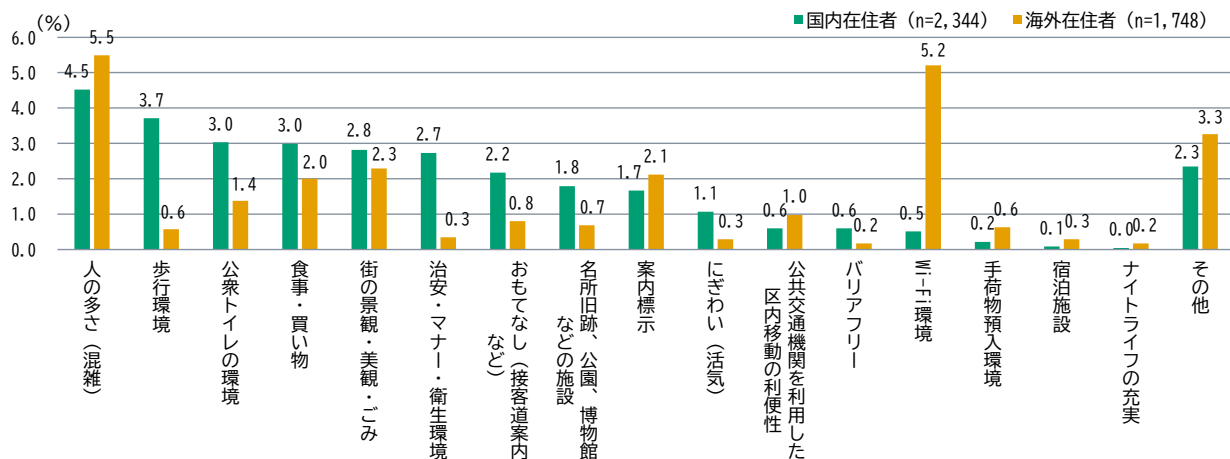


図5 残念だったこと

○良かったこと（令和5年調査・平成30年調査） ※複数回答可

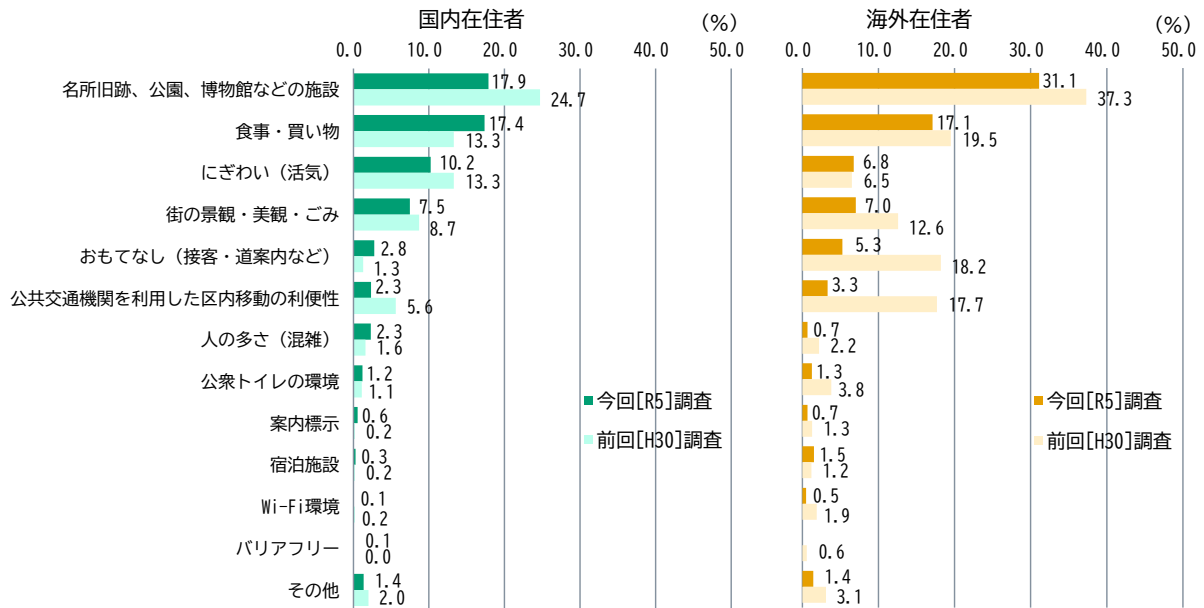


図6 良かったこと（前回調査との比較 ※共通の選択肢のみ）

○残念だったこと（令和5年調査・平成30年調査） ※複数回答可

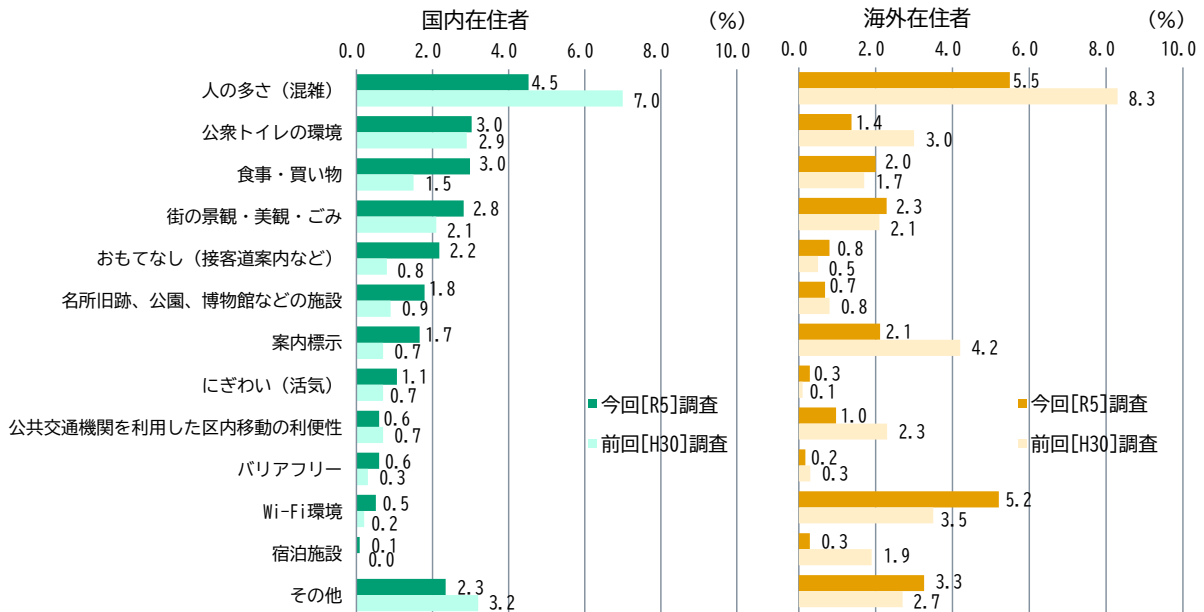


図7 残念だったこと（前回調査との比較 ※共通の選択肢のみ）